

まえがき

理事・副学長（教育担当）

藤井 宏史

学生支援プロジェクト事業「香大生の夢チャレンジプロジェクト」は、学生の自主性、積極性、創造性を高め、学生生活を活性化し、充実したものとすることを旨と共、大学教育の改善・活性化を図ることを目的に、学長裁量経費（特定施策推進経費）による施策の一つとして平成18年度に設けられました。

これは、「地域に根ざした学生中心の大学」として、学生が学内外で積極的に活動できる機会を設け、奨励したいとの思いから設けられたものです。それゆえ、支援の対象となるプロジェクトは、まず、学生自身が主体となって企画・立案した上で提案するものでなければなりませんし、加えて、魅力的・独創的であることが要求されます。

9年目となる本年度の応募数は23件でした。本年度も例年通り、過去の実施状況を踏まえつつ、学生主体であるかどうか、新しいプロジェクトであるかどうかといった観点からプロジェクトの審査を行いました。その結果、13件のプロジェクトが採択されました。審査にあたって今回からは、応募者に対して、採択・不採択の結果を通知するだけでなく、どういった点が高く（低く）評価されたか、実施するうえで心がけてほしいことなど、審査委員の先生方のコメントをあわせて通知することで、今後の参考となるよう配慮しました。

12月17日に開催された中間報告会では、今年も遠隔会議システムを利用して代表者にプロジェクトの進捗状況を発表してもらいました。なるほどと感心させられる実施内容もあれば、工夫を凝らしたプレゼンテーションに特色を持たせたものもあるなど、様々な発表がありましたが、発表のやり方が着実にうまくなっていることを実感させられる報告会でした。

プレゼンテーションばかりでなく、活動内容も着実に成果が上がってきています。本年度は、採択された事業の中から、大学広報に使われたり報道機関から取材を受けるなど、大学内外から注目されるプロジェクトが複数出てきています。

この度、本年度採択された13件のプロジェクトの実績を成果報告書としてとりまとめましたのでご覧ください。学生の皆さんには、今後の応募や企画の参考にして頂ければ幸いです。次年度も、夢チャレンジプロジェクトにふさわしい、学生らしい豊かな発想に溢れたプロジェクトの提案を期待しています。

最後に、本事業の実施に当たって、ご支援・ご協力いただいた地域の皆さまをはじめ、教職員・関係各位には心からお礼を申し上げます。